

2023前期公開講座 5月12日(金)スタート!!!



〈会場〉ノースアジア大学40周年記念館2階271教場／あきた芸術劇場ミルバス



ノースアジア大学総合研究センター

令和5年度総合研究センター前期公開講座のお知らせ

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も皆様に、本学総合研究センター客員教授の方々を中心といたします前期公開講座をご案内申し上げます。

5月12日(金)は、ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサートでございます。秋田市立城東中学校吹奏楽部をゲストにお迎えし、「秋田犬『ハチ』～語り継がれる友情物語」などをお届けします。また、武蔵野音楽大学講師で、本学総合研究センター客員教授の佐藤正人先生と本学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高校吹奏楽部顧問の石崎聖也先生の指揮の下、ノースアジア大学・ノースアジア大学明桜高校の吹奏楽部によるコンサートをご来場の皆様にお届けいたします。

6月3日(土)は、白鷗大学名誉教授で、本学総合研究センター客員教授の福岡政行先生のご講演会でございます。演題は、「岸田政権の迷走と苦悩する日本経済」です。

6月17日(土)は、脚本家、本学総合研究センター客員教授の内館牧子先生のご講演会です。演題は、「文章で自分を表現しよう」です。内館先生は、本学の教育諮問委員もお務めしております。

7月16日(日)は、読売新聞特別編集委員で、本学客員教授の橋本五郎先生のご講演会です。演題は、「これでいいのか日本の政治」でございます。橋本五郎先生は、本学の教育諮問委員もお務めしております。

9月9日(土)は、福岡政行先生の2回目のご講演会でございます。演題は、「日本の経済危機 政局をよむ」です。お楽しみにしてください。

今年度も引き続き、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

ノースアジア大学 総合研究センター長 道 端 忠 孝

ご案内

ノースアジア大学総合研究センター主催の公開講座につきまして、ご案内申し上げます。

公開講座日程は右ページのとおりでございます。会場＆駐車場の案内図は13頁に掲載しております。原則として高校生以上の方であれば、どなたでも受講できます。ただし、「ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート」につきましては、中学生以下の方もご来場いただけます。受講につきましては、下記のとおりお申し込みくださいますよう、よろしくお願ひいたします。

1. 申込方法について

下記のように①～④通りの方法でお申し込みできます。14頁の「登録料(受講料)について(ご案内)」を確認のうえ、お申込みください。

① 郵送

綴じ込みの「公開講座受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記「お問い合わせ先」にお送りください。

② FAX

綴じ込みの「公開講座受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記「お問い合わせ先」FAX番号にお送りください。

③ E-mail (メール)

綴じ込みの「公開講座受講申込書」を参考に、受講者のご氏名(フリガナ)・年齢、ご住所、電話番号、講座名を下記「お問い合わせ先」にお送りください。

④ 電話

綴じ込みの「公開講座受講申込書」を参考に、受講者のご氏名(フリガナ)・年齢、ご住所、電話番号、講座名を下記「お問い合わせ先」にお知らせください。

2. 登録料(受講料)について

登録料(受講料)につきましては、綴じ込みの「銀行振込用紙」をご使用ください。秋田銀行からお振込みの場合は、振込手数料が全額免除されますので、ご利用をお勧めいたします。登録料(受講料)は最初に受講する講座の開講日5日前までにお振込みください。

※「銀行振込用紙」は各金融機関の窓口(郵便局を除く)でお振込みすることも可能ですが、所定の振込手数料がかかります。

3. 受講に際して

- 1)お振込みを確認後、入場券を送付します。来場時、受付にて入場券をご提示いただきますよう、お願い申し上げます。
- 2)教室内は禁煙です。飲食も原則禁止しますが、講師が必要と認めた場合はこの限りではありません。
- 3)定員に達した場合は、当センターより連絡いたします。何卒ご了承ください。
- 4)交通機関につきましては、13頁をご覧ください。運行状況により変更になる場合もございます。また、駐車場に限りがございますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

4. 申込締切期限について

各講座の7日前までにお申し込みください(必着)

*受講を取りやめる場合は、お手数でも当センターへご連絡ください。

お問い合わせ先

ノースアジア大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 URL <http://www.nau-grc.jp>

TEL 018-836-4531 FAX 018-836-6530 E-mail scenter@nau.ac.jp

令和5年度ノースアジア大学総合研究センター前期公開講座日程一覧

No.	公開講座名・講師名	開催日時・会場	登録料(お一人様)
1	ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート 武蔵野音楽大学講師 ノースアジア大学総合研究センター客員教授 佐藤正人	5月12日(金) 午後5時30分～午後7時30分 (開場5時00分)	無 料
	ノースアジア大学吹奏楽部 ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部顧問 石崎聖也	あきた芸術劇場ミルバス 大ホール	
	秋田市立城東中学校吹奏楽部 ノースアジア大学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部		
2	講演会 ①「岸田政権の迷走と苦悩する日本経済」 ②「日本の経済危機 政局をよむ」 白鷗大学名誉教授 ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福岡政行	① 6月3日(土) ② 9月9日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場12時30分)	
		ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場	
3	講演会 「文章で自分を表現しよう」 脚本家 ノースアジア大学教育諮問委員 ノースアジア大学総合研究センター客員教授 内館牧子	6月17日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場12時30分)	前期4講座 合計で 3,000円
		ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場	
4	講演会 「これでいいのか日本の政治」 読売新聞特別編集委員 ノースアジア大学教育諮問委員 ノースアジア大学法學部教授 橋本五郎	7月16日(日) 午後1時30分～3時00分 (開場1時00分)	
		ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場	

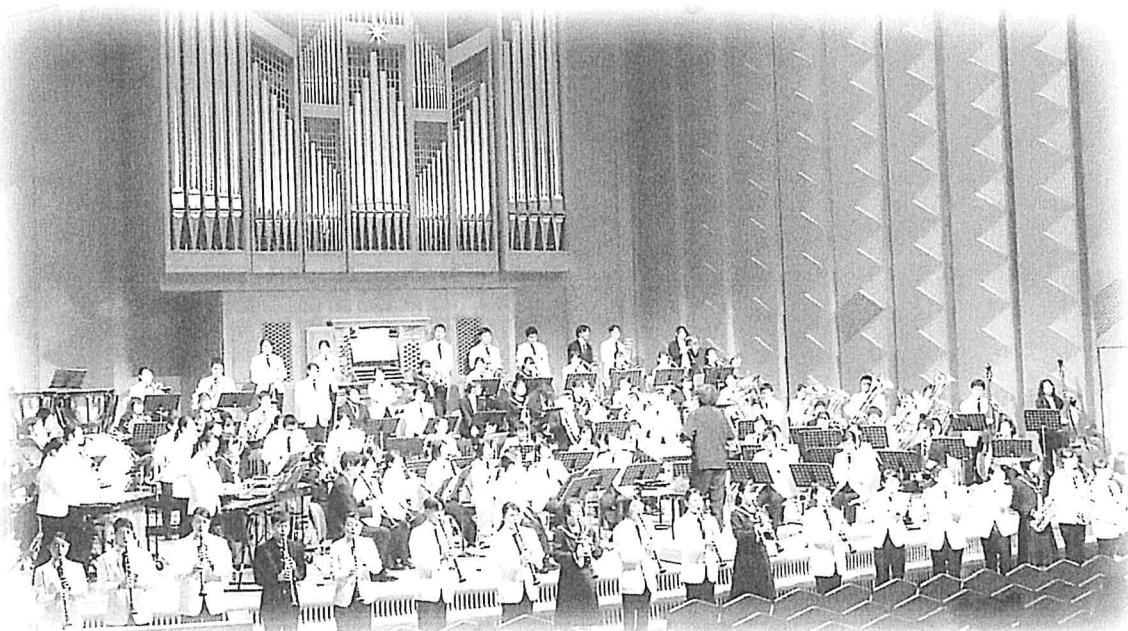
※令和5年度前期公開講座につきましては、教養講座を休講いたします。何卒ご了承ください。

ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート

ノースアジア大学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部
秋田市立城東中学校吹奏楽部

開講日時 5月12日(金) 開場:午後5時00分 開演:午後5時30分

会 場 あきた芸術劇場ミルハス 大ホール



〈演奏曲目〉

- ・秋田犬「ハチ」～語り継がれる友情物語 作曲：下田 和輝
- ・五月の風 作曲：真島 俊夫
- ・デリー地方のアイルランド民謡 作曲：P. グレインジャー
- ・レトロ 作曲：天野 正道
- 他

プロフィール&コンサート開催に向けてのメッセージ



指揮
佐藤 正人

プロフィール

秋田県出身。秋田市立高清水中学校、秋田県立秋田高等学校卒業。武蔵野音楽大学でクラリネットを専攻。昭和58年埼玉県川越市立野田中学校音楽科教諭として着任。12年間教職を勤め吹奏楽部を全国有数のバンドに育てた。平成3年度埼玉県長期派遣研修教員として、東京芸術大学大学院音楽教育研究室で研鑽を積む。平成7年4月より東京ミュージック＆メディアアーツ尚美講師として着任。これまで全国の中学校・高等学校・吹奏楽団を指導。広島ウインドオーケストラ、ノースアジア大学ウインドオーケストラへの客演等、海外を含め数多くの演奏会に出演。また、コンクール審査員、レコーディング、クリニック講師等活動中。吹奏楽編曲作品も多数出版されている。吹奏楽コンクール全国大会へ野田中学校、立正大学、秋田吹奏楽団、川越奏と奏友会吹奏楽団、ソノーレウインドアンサンブルを率いて延べ42回出場、24回金賞、19回銀賞受賞。2006年全日本吹奏楽コンクール長年出場指揮者賞、2010年秋田県木内音楽賞特別賞受賞。2007年西関東吹奏楽連盟、2015～2020年埼玉県吹奏楽連盟、2021年北陸吹奏楽連盟より優秀指揮者賞受賞。現在尚美学園大学客員教授、武蔵野音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校、ノースアジア大学、埼玉県立松伏高等学校音楽科講師。川越奏と奏友会吹奏楽団、秋田吹奏楽団、ソノーレウインドアンサンブル、立正大学吹奏楽部音楽監督。渋谷区青少年吹奏楽団常任指揮者。日本管打・吹奏楽学会理事、「21世紀の吹奏楽《饗宴》」実行委員。

コンサート開催に向けてのメッセージ

この3年間、コロナ禍で大変厳しい状況が続いている中、昨年ようやく演奏会が無事開催され、日常が戻ってきたこと、そして多くの聴衆の皆様の前で演奏できることができほど幸せなことか心から実感しています。

ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサートで毎年一緒にしてきた皆さんと、今年も演奏を通して音楽を楽しむことを嬉しく思っています。

今年は、日本有数の素晴らしい音響を持つ「ミルハス」で吹奏楽の新しい響きをお届けします。また、「語りと吹奏楽のための作品」は今年生誕100年を迎える秋田犬「ハチ」を、後半は皆さんのが良くご存知の曲を用意しています。ウインドオーケストラ渾身のパフォーマンスをお楽しみに。



顧問
石崎 聖也

プロフィール

現職

ノースアジア大学 吹奏楽部顧問
ノースアジア大学明桜高等学校 教諭
ノースアジア大学明桜高等学校 吹奏楽部顧問

履歴

秋田市出身。山形大学教育学部卒業。全日本アンサンブルコンテスト第25回全国大会金賞受賞。第6回秋田県青少年音楽コンクール最優秀賞受賞。これまでにトランペットを板倉駿夫、佐藤裕司、井上直樹の各氏に師事。また元ボストン交響楽団首席トランペット奏者C.シュリューター、元ベルリンフィルハーモニックトランペット奏者T.クラモー、A.トカラフの各氏のマスタークラスを受ける。ピアノを北条節子、小野崎通男、中畠淳の各氏に師事。2008年には全日本選抜吹奏楽団の副指揮者としてウィーン楽友協会ホールでの演奏会に参加した。2005年より本校吹奏楽部を指導し、全日本高等学校選抜吹奏楽大会へ2度の出場を果たし、2019、2021年にはシンフォニックジャズ＆ポップスコンテスト全国大会へ導いた。全日本吹奏楽コンクール東北大会には2014年より連続して出場している。全日本アンサンブルコンテスト東北大会にもこれまで10回、14チームを出場させている。ジャパン・エール・プロジェクト2021、2022においてわらび座ミュージカルを指揮した。

コンサート開催に向けてのメッセージ

ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサートをあきた芸術劇場「ミルハス」大ホールで開催できることを嬉しく思います。昨年6月にオープンしてから様々な機会に演奏させていただきましたが、素晴らしいホールでppからffまで全ての音が埋もれることなく豊かに美しく響くホールです。ジャンルを問わず多くのイベントが絶えず催され多くの人が賑わう場所となりました。この新しいホールと共に我々吹奏楽部も新しい歴史を築き、心躍る演奏をお届けしたいと思います。

ゲスト校 秋田市立城東中学校吹奏楽部



私たち秋田市立城東中学校吹奏楽部は、「協奏」というモットーを掲げ、日々練習に励んでいます。

昨年度は、閉館した秋田市文化会館で行われた最後の演奏会である「ありがとう文化会館コンサート」や、秋田駅で行われた「秋田エリアプレミアムフェア 2022」に出演させていただき、大勢のお客様の前で演奏できることの幸せを噛みしめることができました。

今年度もこのような素晴らしい演奏の機会を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。私たちにできる精一杯の音楽を、この素晴らしいホールに響かせたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

秋田市立城東中学校吹奏楽部一同



福岡 政行 講演会

プロフィール

現職 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学 総合研究センター 客員教授
履歴 早稲田大学大学院 政治学研究科 博士課程修了
駒澤大学 法学部助教授

第1回 「岸田政権の迷走と苦悩する日本経済」

開講日時 ▶ 6月3日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 12時30分)
会 場 ▶ ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場

講演内容

日本の内外に難題。物価高は収まらず、ウクライナ危機が深刻に！
プーチンは苦しくても、今さら止められない。ロシア国内の不安は増大。
中国、ロシア、北朝鮮の三つの隣国は核保有国だ。
習近平は台湾への圧力を拡大させる。沖縄にも・・・。
日米安保だけで大丈夫なのか！？どうする日本だ。

第2回 「日本の経済危機 政局をよむ」

開講日時 ▶ 9月9日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 12時30分)
会 場 ▶ ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場

講演内容

景気は低迷する。東京と地方、日本が分裂し国内の格差は、ますます拡大。
中流の分解、苦しむ非正規労働者の将来不安。不況に喘ぐ国民の声が聞こえないのか。
岸田首相は解散カードを手にしているが、解散する力は残っているのか？



撮影/富本真之

内館 牧子 講演会

プロフィール

現職 脚本家
ノースアジア大学 教育諮問委員
ノースアジア大学 総合研究センター 客員教授
履歴 武蔵野美術大学 卒業
東北大学大学院 文学研究科修了
NHK大河ドラマ「毛利元就」・NHK連続テレビ小説
「ひらり」・TBSドラマスペシャル「壇の中の中学校」
他多数のテレビドラマの脚本を手掛ける。

「文章で自分を表現しよう」

開講日時 ▶ 6月17日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 午後12時30分)
会 場 ▶ ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場

講演内容

私は「ノースアジア大学文学賞」をはじめ、幾つかの一般公募の選考委員をつとめています。秋田に関係しているものでは、県主催の「秋田ふるさと文学賞」もそうです。

また、以前に本学で「エッセイの書き方」というお話をしましたところ、それを聴講した複数の方々から、コピーが届いたこともありました。『秋田さきがけ新報』の「えんぴつ四季」に載り、そのコピーと嬉しさ一杯の手紙でした。

自分の考えていることを、また誰かに伝えたいことを、自分で文章に書きたい人は多くいるはずです。でも、どう書いていいのかわからない。当たり前です。私もそうでした。

今回は「文章で自分を表現しよう」というテーマでお話しします。どんなことでも、始める時は「ゼロ」からです。やがて「さきがけ」に採用されたり、本学や県の文学賞を受賞したり、そういうことが本当にあります。

ゼロからで全然問題ありません。まずは学び、書いてみて下さい。もちろん、第一目標は「ノースアジア大学文学賞」ですよ！

橋本 五郎 講演会

プロフィール

現職 読売新聞特別編集委員
ノースアジア大学 法学部教授
ノースアジア大学 教育諮問委員
履歴 秋田県山本郡琴丘町(現在の三種町)生
慶應義塾大学法学部卒業後、読売新聞へ入社。
入社後は、浜松支局の記者を皮切りに、読売新聞東
京本社社会部記者、政治部記者、政治部次長、論説
委員、政治部長、編集次局長を歴任。



「これでいいのか日本の政治」

開講日時 ▶ 7月16日(日) 午後1時30分～3時00分 (開場 午後1時00分)
会 場 ▶ ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場

講演内容

岸田内閣が発足してまもなく2年になろうとしている。旧統一教会問題などが下火になっているとともに、5月の広島サミットの議長国を務めるなど外交的な実績も見込まれ、内閣支持率は底を打って上昇に転じようとしている。その一方で、家庭の台所を直撃している諸物価の値上げはいっこうに収束を見ない。岸田政権は、当面する諸課題に対してどう対応しようとしているのか。「聞く力」はあっても「決断する力」に乏しいと言われた岸田首相だが、防衛費の対GDP比2%への拡大や原子力発電所の再稼働など、昨年末から「決断する首相」のイメージを印象づけようとしている。

そのこと自体は評価できるが、問題は決断するに当たって、自民党内や政府内で十分な議論を行っているかどうかである。岸田首相は来年9月には自民党総裁としての任期が切れる。来年を見据え、今年秋にも衆院を解散して権力基盤を確かなものにしようとするだろうが、その場合の鍵になるのが自民党内の支持の広がりである。そのためにも、「チーム岸田」を再編成し、かねての公約である「新しい資本主義」の具体的肉付け、子育てなど少子化対策などの迅速な執行が必須となる。この場合の岸田首相を支えるキーマンは誰かなども分析しながら、岸田政権の行方を探っていこうと思う。

雪国民俗館 前期イベント

第15回展示のお知らせ

本年度の雪国民俗館の活動テーマは「川の暮らし」とした。川は人々が暮らしの上で、とても大切な役割をもっていた。例えば生活物資の輸送路、いかだ流し、交通路、灌漑用水の供給、漁業、それに文化の伝播路になっていた。また夏になると子ども達は、川で水遊びをしてきた。川は人々の暮らしと密接な関わりをもっていたと同時に風土論にも通じる一面がある。

昨年は「マタギの暮らし」を取り上げた。川の上流奥地にはマタギの人たちが生活していた。主に冬は狩猟にあたるが、夏から秋にかけては川で魚捕りをしていた。川漁とマタギの技法は、対応するところがある。例えばアユ捕りをするのに鵜を使う(鵜匠)が、山で鬼を捕るのに鷹を使う(鷹匠)。またヤスで魚を突いてとる漁法に對して動物を槍で突いて捕る技法、筌(ウケ)や築(ヤナ)を設置した待ちの漁法に對して山中に罠をしかけて捕る技法などがそれにあたる。

また川の上流の地で発見されたものに魚形文刻石(通称鮭石)がある。石面に魚形が線刻されたものである。貴重な考古資料として県指定の有形文化財になっているものがある。年代のこと、どのような人々が関係したのか検証されなければならないが、マタギの関与がなかったかという事である。

こうしたことから本年度のテーマは「川の暮らし」とした。

開催期間 7月15日(土)~7月16日(日)

開催場所 ノースアジア大学40周年記念館1階

民俗・社会・経済・文学に関する自由研究のサポート

小・中・高校生のみなさん!
自由研究をサポートします。

民俗・社会・経済・文学の中から幅広いテーマに対応します。

I 自由研究の上手な書き方(紙媒体)を配布

II 自由研究のサポート

①小学生向け(例)

- ・ナマハゲとは?
- ・竿燈は秋田だけの行事?
- ・どうして社会は変化するの?
- ・マタギってどんな仕事?

②中・高校生向け(例)

- 1)テーマ設定
 - ・秋田の伝統文化と芸能
 - ・農山漁村のくらし
- 2)経済成長と社会の変化
- 3)資料提供と質疑応答

対象 小・中・高校生

実施日 1) 7月15日(土)、16日(日)
2) 小・中・高校の夏休み期間

希望日 随時電話受付

連絡先 ノースアジア大学雪国民俗館
担当: 嵯峨
TEL: 018-836-6592
Mail: saga@nau.ac.jp



今年度のテーマは「川の暮らし」



展示室の様子



展示室を見学している様子



寄贈いただける民具の募集

雪国民俗館に多くの方々から貴重な品を寄贈して頂き、誠にありがとうございます。寄贈品コーナーに順次展示していますので、どうぞご来館下さい。

本館では、例えば子供の遊具(スケート、コマ、メンコなど)、祝い具、炭焼き用具、鍛冶用具、機織り用具、商業用具、木こりの用具、提灯、刀剣・鉄砲類、古書、古文書類などを必要としています。

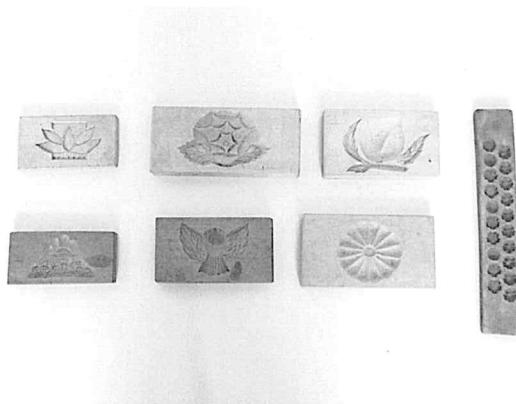
しかしこの他にもご家庭で使用されなくなった古民具類には、暮らしの変化を伝える上で貴重な役割を持つもののがたくさんあります。寄贈を申込みされる方はご連絡ください。

寄贈品は本館目録に登録して保存します。また寄贈者にはその年度に発行する『雪国民俗(※)』1冊を謹呈いたします。

※本館の年間活動を記録した出版物です。



(角樽)

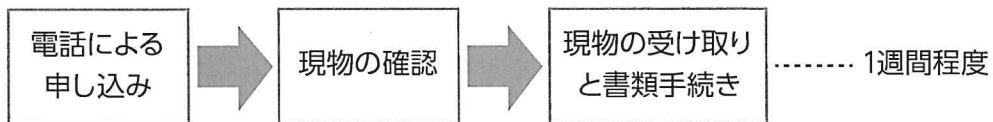


(木製の製菓型)

募集期間 期間は問いません

料 金 無料(運搬費等もありません)

手続き方法



※寄贈申込みの民具が本館に既に収蔵されている場合もあります。

その際には保存・管理の都合上、寄贈をお受けできないことがありますのでご了承いただきます。

連絡先

TEL 018-836-6592 (担当: 嶋峨)

第16回 ノースアジア大学 文学賞

(学園創立70周年記念)

趣旨

私たちの日々の多くは物語であふれています。その物語を文章にしてみませんか。
豊かな文学の風土に囲まれたこの秋田の地で、皆様の作品を募集します。どうぞ奮ってご応募ください。

部門

I 高校生の部門

エッセイ(自由作品)の部

- ◎最優秀賞…賞状と副賞(5万円相当の旅行券)
- ◎優秀賞…賞状と副賞(3万円相当の旅行券)
- ◎学園創立70周年記念理事長特別賞
…賞状と副賞(2万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞
…賞状と副賞(8千円相当の図書券)
- ◎学校賞…賞状と記念品

II 大学生・一般の部門

- ①エッセイ(自由作品)の部
- ②短編小説の部

- ◎最優秀賞…賞状と副賞(5万円相当の旅行券)
- ◎優秀賞…賞状と副賞(3万円相当の旅行券)
- ◎学園創立70周年記念理事長特別賞
…賞状と副賞(2万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞
…賞状と副賞(8千円相当の図書券)

それぞれの部で優秀賞は複数選びます。

応募内容

高校生の部門及び大学生・一般的の部門において、広くエッセイを公募いたします。テーマ及び形式は自由です。なお、エッセイには、随筆・評論を含みます。また大学生・一般的の部門のみ、「短編小説の部」を設けました。自由に空想の翼を広げ、自分自身を表現してください。

応募資格 アマチュアに限ります。
年齢、学歴等は不問です。

応募期間 令和5年6月1日(木)～8月16日(水)
当日必着

発表 令和5年11月18日(土)
文学賞授賞式

応募規定

- 応募枚数は、400字詰め原稿用紙5～10枚以内です。なお応募はオリジナルで未発表の作品に限ります。
- ①本文の1枚目冒頭にタイトルと氏名を明記してください。原稿用紙はA4サイズ横判を縦書きで使用してください。ワープロ原稿の場合は用紙A4横に設定し、40字×30行の縦書きで印字してください。
 - ②巻末綴込みの応募用紙に、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、略歴を明記し、作品と併せてノースアジア大学総合研究センターまでご郵送ください。

選考委員

内館 牧子

脚本家
ノースアジア大学教育諮問委員
ノースアジア大学総合研究センター客員教授

石川 好

ノンフィクション作家
評論家
ノースアジア大学総合研究センター客員教授

塩野 米松

作家
ノースアジア大学総合研究センター特任教授

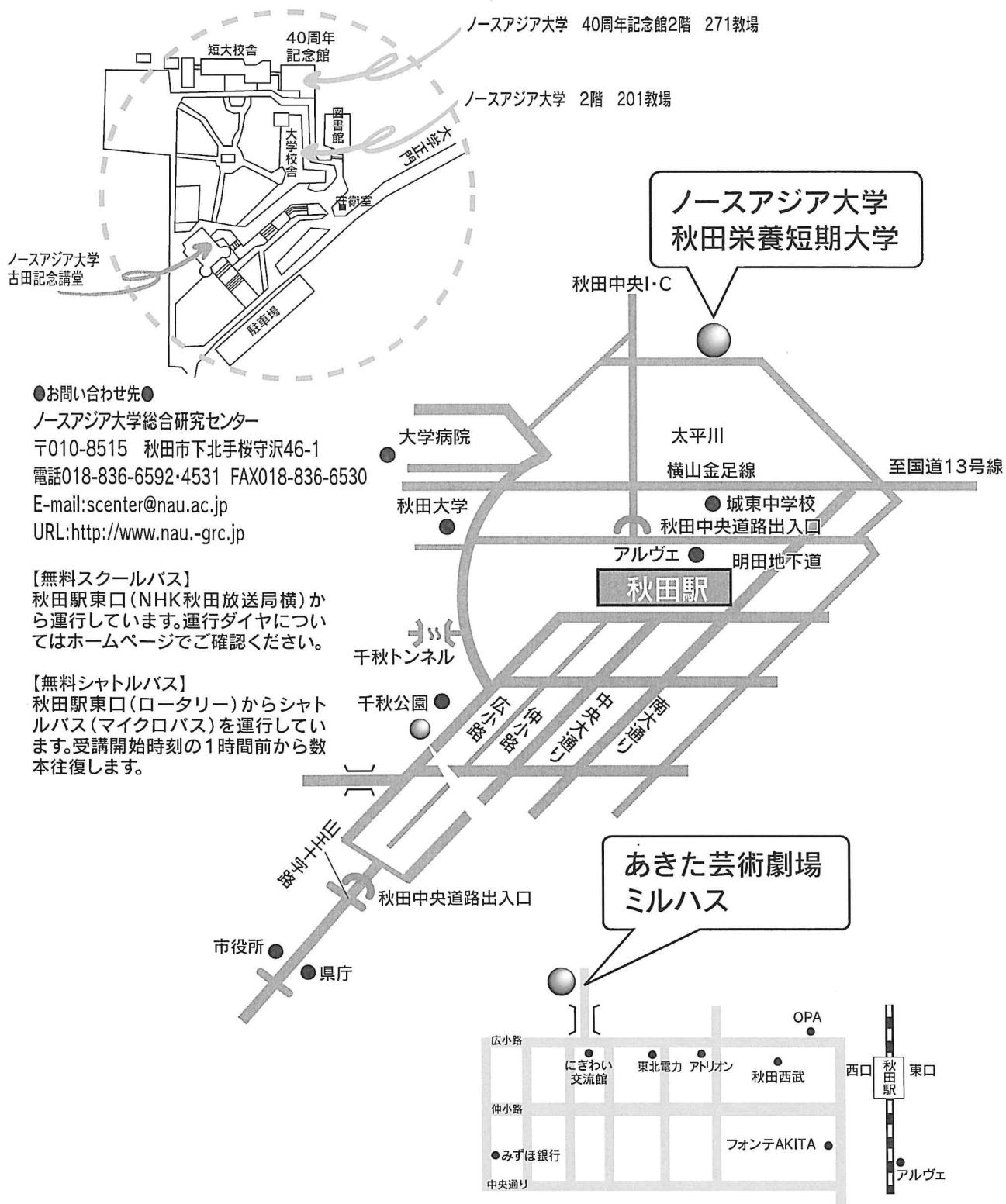
多くの皆様のご理解・ご協力
をいただきまして、第15回ノースアジア大学文学賞では547
作品のご応募がございました。
今年度も多くのご応募をお待ち
しています。



●ご希望の方には、文学賞の応募要項を本学総合研究センターから送付いたします●

お問い合わせ先 ノースアジア大学総合研究センター TEL 018-836-4531 FAX 018-836-65300
〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 E-mail scenter@nau.ac.jp URL http://www.nau-grc.jp

《会場&駐車場&シャトルバスのご案内》



●あきた芸術劇場ミルハス●

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町2-52
TEL:018-838-5822
FAX:018-838-5825

※あきた芸術劇場ミルハスの駐車場は立体式です。(有料)
台数に限りがあります。

※シャトルバス(マイクロバス)の運行はありません。

登録料(受講料)について(ご案内)

令和5年度前期公開講座をご受講いただけにあたり、登録料(受講料)をいただいております。
料金につきましては、下記のとおりでございます。別紙申込書にてお申込みいただくとともに、
綴込みの振込用紙にて登録料(受講料)をお振込み下さいますようご案内申し上げます。

No.	講座名・講師名	日時・会場	登録料 (お一人様)
1	福岡政行先生講演会 「岸田政権の迷走と苦悩する日本経済」	令和5年6月3日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	
2	内館牧子先生講演会 「文章で自分を表現しよう」	令和5年6月17日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	4講座 合計で 3,000円
3	橋本五郎先生講演会 「これでいいのか日本の政治」	令和5年7月16日(日) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	
4	福岡政行先生講演会 「日本の経済危機 政局をよむ」	令和5年9月9日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	
5	ノースアジア大学 ウインドオーケストラ・コンサート 指揮:佐藤 正人 ゲスト:秋田市立城東中学校吹奏楽部	令和5年5月12日(金) あきた芸術劇場ミルハス 大ホール	無 料

- ◎No.1～4の講演会は、何講座受講されましても、登録料(受講料)はお一人様一律3,000円です。
- ◎別添の「振込用紙」をご利用いただき、講演会7日前までに必ずお振込みください。
- ◎受理した登録料(受講料)は、いかなる理由がありましても返還いたしません。ご了承願います。
- ◎講演会当日、現金でのお支払いは受付することが出来ません。
- ◎登録料(受講料)の振込確認後、当センターより入場券を送付いたします。
- ◎講演会当日、入場券をご持参くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

ノースアジア大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 URL <http://www.nau-grc.jp>
TEL 018-836-4531 FAX 018-836-6530 E-mail scenter@nau.ac.jp

受付番号

- 必ず作品ごとにこの用紙を添付してください
(複数応募の際はコピーしてください)

第16回ノースアジア大学文学賞応募用紙

ノースアジア大学 学長 殿

下記のとおり、第16回ノースアジア大学文学賞（学園創立70周年記念）に応募します。

部門 ※応募する部に○をしてください。	I 高校生の部門 ①エッセイ（自由作品）の部	II 大学生・一般の部門 ①エッセイ（自由作品）の部 ②短編小説の部
作品名	応募枚数 () 枚 ※表紙を含まず、400字詰原稿用紙換算で枚数を記入してください。	
氏名	ふりがな 男・女	生年月日 ※西暦で記入して下さい。 年 月 日 (2023年9月1日現在 歳)
筆名	ふりがな	※大学生・一般の部門にご応募で、筆名をお持ちの方のみ記入して下さい。 ※記入されました場合は、筆名での公開となります。
現住所	ふりがな 〒 TEL : E-mail :	FAX : 学年 年生
在籍学校名 勤務先名		
年	月	最終学歴・職歴

- 応募用紙の太枠内はすべて記載（記載できない場合はなしと記載）して下さい。
 ●受付番号には何も記入しないで下さい。
 ●勤務先名・略歴につきましては、可能な範囲でのご記入をお願いいたします。

公開講座受講申込書

ノースアジア大学総合研究センター 宛

下記のとおり受講申込みします。

(郵送・FAX)

郵送先

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢 46-1
ノースアジア大学総合研究センター 宛
FAX番号 018-836-6530

申込日 令和 年 月 日	
フリガナ	年齢
ご氏名	歳
ご住所 〒 —	
TEL ()	FAX ()
E-mail	

キ
リ
ト
リ

No.	公開講座名	日時・会場	人 数
1	ノースアジア大学 ウインドオーケストラ・コンサート	令和5年5月12日(金) あきた芸術劇場ミルハス 大ホール	名
2	福岡政行先生講演会 「岸田政権の迷走と苦悩する日本経済」	令和5年6月3日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名
3	内館牧子先生講演会 「文章で自分を表現しよう」	令和5年6月17日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名
4	橋本五郎先生講演会 「これでいいのか日本の政治」	令和5年7月16日(日) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名
5	福岡政行先生講演会 「日本の経済危機 政局をよむ」	令和5年9月9日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名

*枠内に必要事項を記入してください。

*複数の場合は本書をコピーしてお申し込みください。

*ご記入いただいた情報は、ノースアジア大学・秋田栄養短期大学からの各種連絡・情報提供のために利用いたします。

ノースアジア大学総合研究センター
振込金受取書
(兼手数料領収書)

振込通知書【電信扱】

下記のとおり、お振込みしましたので、ご通知
申し上げます。

金額	年	月	日	振込手数料 (消費税等が含まれています)	円
秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学	3	0	0	0	0
秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学	3	0	0	0	0
秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学	3	0	0	0	0

上記のとおり振込金として領取いたしました。
取扱店印

(取扱店 → 振込人)
取扱店印

取扱店出納印

※取り扱い銀行へのお願い
秋田銀行の本店・支店から指定期間内のお振込みの場合は、振込手数
料をいただかないとようご配慮願います。

キ リ - ト - リ

振込依頼書

電信扱
振込手数料
円

依頼日	令和 年 月 日	振込先	秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学 [お問い合わせ先] TEL (018) 836-4531
ふりがな ご依頼人 (受講者)	ふりがな ご依頼人 (受講者)	ふりがな ご依頼人 (受講者)	ふりがな ご依頼人 (受講者)
～	～	～	～
～	～	～	～

依頼日	令和 年 月 日	振込先	秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学 [お問い合わせ先] TEL (018) 836-4531
～	～	～	～
～	～	～	～
～	～	～	～

(取扱店 → 秋田銀行本店 → ノースアジア大学)

(取扱店 保管)

■2023 前期公開講座

■2023年 4月12日 印刷
■2023年 4月17日 発行

■編集

ノースアジア大学総合研究センター

■発行

ノースアジア大学総合研究センター
〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1
Tel. 018-836-4531
Fax. 018-836-6530
E-mail scenter@nau.ac.jp

■印刷

株式会社塙田美術印刷
〒010-0921 秋田市大町1-6-6
Tel. 018-823-5551